



# 研修農場新聞

2面拡大号

(公財) 農林水産振興財団  
八王子研修農場  
(発行責任者)  
農場長 小寺孝治  
(無料)

## 地域に喜ばれる自分らしい農業スタイルをイメージして!

### 令和8年度 スタート

## 一歩ずつ夢を実現させていこう

### 限られた時間を有効に

この4月から、第5期生は2年間の研修を終え都内各地で営農を開始。研修農場には新たに第7期生が入講し、第6期生とともに新規就農を目指して実践研修を始動。

第5期生の研修成果報告会が3月11日に立川庁舎講堂で行われた。自分の就農モデルでの栽培実証やその経営的な評価等が報告された。行政や普及センター等から有益な助言等もいただき、大変有意義な報告会であった。報告の中で、皆さん自分の農業経営理念や収支予想、将来構想等を語っており、信念をもって就農することに感銘と誇りを感じた。



を心から祈念している。頑張ってください」と熱いエールが送られた。修了生はこの4月から各地で営農を開始した。就農後は慌ただしい日々が続くと思うが、健康を第一に、消費者や地域に喜ばれる魅力ある農業を計画的に展開してほしい。



そして3月19日には、第5期生の修了式が厳かかつ華やかに行われた。理事長からは「財団では常に頑張る生産者に寄り添い、様々なチャレンジを全力でバックアップしていく。皆様の就農の成功



### 第6期生も奮起

先輩たちの背中を見てきた第6期生(2年生)も、

各自就農モデルでの実証栽培に奮起している。4月から農家派遣研修や講義等で大忙しだが、就農までにいろいろと試せる大切な年。いつ、どこに、どんな商品を、どんなお客様に、幾ら位で売っていくのかなどをイメージしながら、失敗を恐れず、常に前向きに実践を積み重ねて欲しい。

### 第7期生入講式

令和8年度第7期生入講式が4月7日に立川庁舎講堂で行われた。新しい研修生は、40代から50代前半の5名(内、女性1名)。寺崎理事長からは「ご入講おめでとうございます。農業は人々の食を支える使命感とやりがいにも満ちた魅力的な仕事です。自然環境の厳しさなどを伴う仕事ですが、2年間の研修を通じて知識・技術・経営感覚を幅広く身につけ、関係者への感謝を忘れず、努力を重ね、将来の就農と活躍につなげてほしい。」と歓迎の挨拶をいただいた。また、ご来賓には東京都農林水産部の渋谷課長や東京都農業振興事務所の山宮所長、東京都農業会議の築田専務理事にお越しいただき、皆様から「ご入講、誠におめでとうございませう。皆さんは



### これまでの天候

八王子の1月は氷点下の日も多く典型的な真冬で乾燥していた。2月は9℃近い日もあったが、20℃超えの日もあり、平年より暖



入講式にあたり寺崎理事長から祝辞をいただく(上)  
入講式後に参加者全員で記念写真(左)

東京農業の宝。立派な農家になるため、この2年間で技術と農家として必要なノウハウをしっかり身につけてほしい。真剣に農業と向き合って、2年後の就農を目指してしっかりと取り組んでください。就農後は都も様々な支援事業等で全面的にサポートしていくので安心してください。新たな担い手として決意されたことに感謝。皆様の挑戦を心より応援している」など、心温まる祝辞をいただいた。

### 職員の異動

かく、降水量も少なかった。3月は寒暖差はあったが、温暖な日が多く、降水量も平年並みに近づいた。このため、桜も平年より5日近く早く開花した。

(転入) 両角正博、高橋大輔、田口諒、林敬三。(アシスタント職採用) 荒木義孝、川島賢二。(転出) 井出野勉、清水遼、丸山哲朗。(アシスタント職退職) 小山亨。

### 研修生等の今

3月末、就農直前の第5期研修生から、今後の抱負等を語っていただいたので一言紹介したい。  
太田さん…無事に卒業できました!本当に2年間あり

### 1~3月の主な出来事

- (1月)
  - ・5日 仕事始め、7日 研修開始、8日 あきる野農地調整
  - ・14日 西東京市援農講演、14日 直売、20日 埼玉視察
  - ・21日 国民民主都議視察、24日 内定者説明会、30日 雇用就業視察
  - ・フードバンク提供 5、9、14、16、19、26、28日
- (2月)
  - ・6日 ミニ直、10日 青梅市農地調整、12日 大型特殊免許実地試験
  - ・12日 北多摩北部・西部農業改良普及協議会視察、17日 あきる野農地調整
  - ・26日 ハウス設置研修、27日 農業振興事務所JA中央会挨拶
  - ・フードバンク提供 2、4、6、13、16、20、25、27日
- (3月)
  - ・3日 農機搬入、4日 東京農大来所、6日 所内成果報告会
  - ・11日 研修成果報告会、16日 理事長奨励賞受賞
  - ・19日 第5期生修了式、23日 理事会、26日 防犯カメラ設置
  - ・フードバンク提供 2、6、9、11、13、16、23、25、27日

がどうございました。今年一月にホームセンターで50万円くらい先行で使った時は不安な気持ちにもなりました。ここで学んだことを十分に活かして就農一年目走りぬることをここに誓います。まずは70aをしっかりと管理する事を目標にして、エタマメを中心に売り上げも作っていきます。  
高橋さん…アカデミー関係者の皆様、研修に関わってくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。  
今後は学んだことを糧に、農業経営者として地域に貢献していき、東京を代表するトウモロコシ農家を目指して頑張っていきます。  
丹治さん…研修を通して未熟さを実感しながらも多

くのことを学び、成長することができました。支えてくださった皆様に感謝し、先ずは地域で認めたいだけけるよう、誠実に農産物を出荷していきます。

**田中さん**：4月からの就農に向けて期待と不安でいっぱいですが。これまでアカデミーで教わった事を一つ一つこなし、お世話になった皆さんに良い報告ができるように頑張つて、頑張つて、頑張つて、参ります。



**第6期生の抱負など**

**石谷さん**：1年生の貴重な時間はあつたという間に過ぎた。2年生になると地域の農家さんを始め、行政の方々との関わりも増え、書類作成も多くなつていくと思えます。就農までに人間関係をより一層深めていきたい。

同時に残り一年でしっかりと栽培方法を復習し、実証圃の管理を怠らないよう励んでいきます。

**大柳さん**：残り一年。就農に向け、失敗も含め多くの経験を積みたのと考えています。この一年の実験を通じて栽培技術や作物選定を深め、経営計画を具体化

し、着実に就農への準備を進めていきたいと思えます。

**澤田さん**：約一年の月日が流れ今年から自分の就農に向けた計画をたて作付けし、いける事に楽しみを感じながら残りの一年で試行錯誤しながら農業をより深く勉強していきたいと思えます。

**立山さん**：トマト・イチゴを中心に、就農時の再現性を高める栽培実習に取り組み、検証と改善を重ねる一年としたい。併せて農地・販路確保の計画を実行し、首農開始を見据え主体的に挑戦する年にしていきたい。

**安留さん**：2年次では、1年次に学んだ基礎を活かし、一年間の営農を自らの力で回せる実力を身につけたいです。地に足をつけて経験を積み、応用力を高めながら、将来の就農につながる確かな力を養います。

**石川さん**：東京で農業を行う意義を大切にしながら、安心・安全な農産物を生み出す力を養うため、2年間全力で取り組みます。現場で通用する技術と判断力を身につけ、持続可能で地域に信頼される農業経営者を目指します。

**大友さん**：50代での脱サラ就農、理解を示してくれた

**第7期生の抱負など**

家族に感謝！アカデミーではプロの生産力と自立できる経営力を身につけたい。給食産業での経験を活かして、食の安全と東京農業の維持発展に貢献したい。

**喜久山さん**：毎日食べるものだから日常に寄り添える明日への活力に繋がる栄養価の高い旬の野菜を皆さんの食卓へお届けできるような2年間アカデミーで精一杯学びたいと思えます。よろしくお願ひします。

**城さん**：食は健康の基盤であり、人生に彩りを与えるものだと考えています。その価値に貢献できるようにアカデミーで栽培技術と経営力を磨き、食卓に小さな喜びを届けられる農業者を目指します。

**竹内さん**：農業という仕事がかもつと注目され、若い世代にも農業の魅力発信できるプロ農家になるために、2年間、知識や技術だけでなく農家としての心構えや様々な人との交流を通して幅広く学んでいきたいです。

以上、修了生や現役研修生の抱負等を聴き、改めて

一人一人の課題にも向き合い、協力・連携しながらしっかりと対応していきたい。

**各種SNS情報**

研修農場では、研修状況等をエックスやフェイスブック、インスタグラム、ユーチューブで配信しています。ぜひ「東京農業アカデミー八王子研修農場」と検索してみてください！フォローもよろしくお願ひします！

なお、直売情報をいち早くお知らせするためLINE Eでの配信も行っています。友だち登録はトーク検索で「東京農業アカデミー八王子研修農場」を選択又は左下QRコードより可能。



第7期生の5名  
実習初日に撮影  
1〜2年後の顔付きが  
楽しみです。

**研修農場  
スナップ**

2026年 1〜3月

ホームページ

QRコード

LINE

YouTube

真冬のホウレンソウ  
トンネル内で順調に育つて  
くれました。(1月)



第2回管外先進地視察(1月) (株) アグレス埼玉農場と所沢ゼロファームを訪問し、圃場のほか雇用や販路など経営的なことも大変勉強になった。



あきる野市の大福氏から、果菜類の接ぎ木研修を受ける。(1月)



1月の作業風景など  
・恒例の踏み込み温床づくり  
・ニンニクへの追肥  
・促成イチゴにも挑戦中  
・パイプハウス作りの演習  
・春まきキャベツの育苗



JA北多摩北部・西部農業改良普及事業協議会の管轄に視察に来ていただきました。(2月)



農福連携の現状や実際について、はじめて講義を行ったところ、皆さんとても関心が高かった。



キャベツなど定植労力の削減には欠かせない葉菜葉類用の半自動移植機を導入。(3月)



府中運転免許試験場にて大特(農耕用)免許の取得。第6期生は全員合格しました。(2月)



JA北多摩北部・西部農業改良普及事業協議会の管轄に視察に来ていただきました。(2月)



農福連携の現状や実際について、はじめて講義を行ったところ、皆さんとても関心が高かった。



令和8年度がスタートし、研修生と職員みんなで記念撮影(R8.4.8)



ジャガイモの植え付け、みんなスピード感もあり、上手に植え付けていた。(3月)。



今年は3月になると新2年生たちは、自分の実証圃で、それぞれ主体的に作付けを開始。(3月)



今年は3月になると新2年生たちは、自分の実証圃で、それぞれ主体的に作付けを開始。(3月)



今年は3月になると新2年生たちは、自分の実証圃で、それぞれ主体的に作付けを開始。(3月)